

令和2年度 サニー・サイト 事業報告

『就労継続支援B型・生活介護事業』

令和2年4月1日～令和3年3月31日

文責：管理者 松本 三貴

1) 利用者の受け入れ状況等

- ① 利用開始者：2名あり。4、5、6月 男性利用者1名（期間限定）
⇒定期的に通所していた事業所は送迎が出来ないとの理由で
その期間のみ利用される事となった。
12月 男性利用者1名
- ② 利用解約者：3名あり。6月 男性利用者1名、長期入院後、永眠。
7月 男性利用者1名、他事業所へ移籍。
8月 女性利用者1名、サニー・ばななへ移籍。

2) 利用者支援の具体的なあり方

『共通』

1. 利用者の希望に添った個別支援計画を作成し、支援を行った
2. 家族、グループホーム支援員と連携を密にし、極め細やかな体調管理を行った。また協力医（太田医師）から事業所での健康管理について助言を受け、希望者には訪問看護（医療連携体制加算）を利用して週5日、メンタルヘルスについて助言を受けることが出来るようにした。⇒訪問看護は、3月31日をもって終了となった。
3. 自主製品製造（クッキー）、軽作業や下請け作業、エコ活動（アルミ缶回収）、創作活動（さをり織り）、心身の状態に合った作業を選択して取り組むことが出来るようにした。
4. 集団生活の中で、自主性・協調性・社会性を育めるよう支援することに努めた。
5. 音楽を取り入れたレクリエーション（音楽療法：月1回～2回）を実施し、コロナ感染状況にあわせて、予防対策を行い楽しみながら身体を動かすことができる活動を行った。
6. 豊かな生活に繋げていけるよう、創作活動の時間（音楽、芸術を楽しむ時間）としてSBと合同でトールペイント、MB、SBと合同でパペットレクリエーションを行った。
7. 新型コロナウイルス感染予防対策に全利用者への対応を行った。

『就労継続支援B型』

1. 長年継続してきた、大きなイベントの取り組みとしてクリスマスとバレンタインクッキーセットの販売は、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策の為、外部への営業は一切行わず、法人内のみでクッキー注文販売の取り組みを実施した。新型コロナウイルス感染予防策の中、安全第一で、出来る限りの収入確保の取り組みを行った。

イベントクッキーの法人全体の売上は下記の通り。

クリスマス	令和2年度 210,761円	令和元年度：742,100円	531,339円▼
バレンタイン	令和2年度 101,702円	令和元年度：353,100円	251,398円▼

2. 複数の業者から仕事を請け負うことによって、軽作業や下請け作業の安定した作業提供に努めた。令和2年度は、在宅支援になった時期には、下請け作業の材料を各個人宅へ職員が配達して在宅で作業が出来るように努めた。
3. 工賃規定の改定により、自力通所手当を7月からお支払いする事となった。
労力に見合った工賃を支払えるよう分配方法を見直した。
4. 新型コロナウイルス感染予防のため、ほとんどのバザーが中止となり、また支援学校での販売は1度だけ先生からのご注文をお届けする事のみであった。人と人との接触を防ぐ為に職員のみで対応したため、販売訓練を実施することがほとんどできなかった。
5. 一般就労を希望する利用者がいなかったため、施設外訓練、職場実習、就職活動には取り組んでいない。

食品部門（クッキー、かき氷等）売上

	令和2年度	令和元年度	増額
クリスマス	210,761	465,588	▼254,827
バレンタイン	101,702	239,286	▼137,584
バザー	69,995	503,936	▼433,941
店頭直売	402,880	535,540	▼132,660
支援学校販売	3,200	89,280	▼86,080
パッセ	130,316	86,460	+44,156
ファミリーマート	137,666	192,270	▼54,604
美樹の園	215,000	259,000	▼44,000
モンキーばなな店頭	103,704	184,192	▼80,488
かき氷	6,100	16,000	▼9,900

単位（円）

非食品部門（下請け、さをり織り）売上

	令和2年度	令和元年度	増額
ポケットフーズ	85,792	86,400	▼608
泉州パック	81,763	93,196	▼11,433
フジマサ	160,800	159,000	+1,800
ヤマト商工	96,482	53,390	+43,092
リブウエル	257,433	303,918	▼46,485
アルミ缶換金	92,790	94,777	▼1,987
さをり織り	40,640	71,110	▼30,470
線香販売委託料	1,100	3,800	▼2,700

単位（円）

※前年度と比較可能な項目のみ記しており、分類を変更したため前年度と比較できない項目については除外している。除外した項目を含めた授産会計全体の売上は下表の通りである。

授産会計売上

	食品部門	非食品部門	合計
令和2年度	1,524,667	854,480	2,379,147
令和元年度	2,892,275	959,198	3,851,473
増額	▼1,367,608	▼104,718	▼1,472,326

単位（円）

※令和2年度は、収入確保について検討すべき対応よりも、新型コロナウイルス感染予防対策で安全第一を優先にして取り組んできた為にかかなりの減収となった1年間であった。

※長年の課題であったクッキー作業に携わる利用者への工賃支払いについて、全職員で何度も分配方法について話あった結果、工賃規定を7月に改訂し、労力に見合った工賃を支払えるようになった。

『生活介護』

1. 看護職員及び機能訓練士の指導の下、二次障害防止に努め、安全への配慮と共に健康活動（マッサージ、ストレッチなど）を毎週行った。マッサージは毎週水曜日に実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大が大きな社会的問題となり令和元年2月以降は中断している。
2. 社会参加を目的とした外出訓練、販売訓練を毎月1回以上計画していたが、実際に実施した外出訓練、販売訓練については4ページ以降に記載。

3) 利用者支援の具体的内容

『共通』

1. 日課（月～金）

09:30～	9:45	朝礼・ラジオ体操・体調報告・各班作業予定発表
09:45～	11:00	作業
11:00～	11:10	休憩 ※クッキー作業は途中休憩なし（適宜水分補給）
11:10～	12:00	作業
12:00～	13:00	昼食（各自で準備。希望者は宅配弁当を利用）・休憩
13:00～	13:05	・ラジオ体操第2
13:05～	14:30	作業
14:30～	14:40	休憩 ※クッキー作業は途中休憩なし（適宜水分補給）
14:40～	15:30	作業
15:30～	16:00	掃除・帰宅準備 ※金曜日・祝日…14:30終礼・帰宅
16:00～		終礼・帰宅

- ・朝礼は、送迎車の到着時刻によって9:35～9:40に開始している。
- ・13時からラジオ体操第2を行っている。
- ・土曜日に開所するときは、金曜日・祝日のスケジュールに準じている。

2. 週間

水曜日 機能訓練士によるマッサージ（生活介護利用者）

【配達】 定期的に（毎週から隔週）、高齢者施設：美樹の園へのクッキーの配達。

※上記のスケジュールを基本とするが、新型コロナウイルス感染症の影響で変更している。

3. 月間

販売訓練 支援学校4校 1度だけ先生からのご注文対応で販売の機会はなかった。
中区役所、高齢者施設：やすらぎの園も注文販売を請け負った。

販売機会があったが、感染予防対策として少人数の参加を求められた事、利用者の方の参加を控えてほしいと要望があった事もあり職員のみで対応。

配 達 賞味期限の状態にあわせて、イオンモール堺鉄砲町店、森のキッチン、ファミリーマート堺一条通店、ファミリーマート堺堀上町店、モンキーバナナ、レストランぐらん・じゅへクッキーを配達した。

※新型コロナウイルス感染症の影響で配達はその時々で対応をおこなった。

広 報 担当者による「こんにちはサニー・サイトです」(地域新聞)の発行と深井清水町への配布を行った。第1回緊急事態宣言時には、特に事業所では、新型コロナウイルスの感染予防対策を行っている事を、地域住民の皆さんへ3密にならないように開所して感染予防対策をしている事を発信した。

4. 年間行事

販売訓練

- ・ 泉北カトリック教会年 7月・9月・11月 職員1名
- ・ 西区作業所ネットワークバザー 6・7・8・9・10・11・3月 職員1名
- ・ 07月14日(火)～17日(金) 堺市庁舎販売 職員1名

外出訓練

- ・ 10月16日(金)「くら寿司」「セリア」で防災グッズ購入 利用者7名 職員3名
- ・ 19日(金)「くら寿司」「セリア」で防災グッズ購入 利用者7名 職員3名
- ・ 26日(金)「くら寿司」「セリア」で防災グッズ購入 利用者5名 職員3名

社会見学

コロナ感染予防の観点から実施できなかった ※

季節行事

- ・ 04月03日(金) はざま公園で花見 利用者11名 職員4名
- ・ 12月29日(火) おつかれさん会 利用者22名

⇒※ GO TO EATは法人負担でお弁当、デザートを準備して1年間の労をねぎらった。

法人合同行事

- ・ 08月01日(土) 切りえパフォーマンス
- ・ 11月02日(月) パペット作成、移動販売車(クレープ)

調理訓練

- ・ 05月04日(祝月) カレーライス いちごゼリー 利用者8名 職員5名
- ・ 05月05日(祝火) オムライス からあげ スープ 利用者8名 職員5名
- ・ 07月23日(祝木) 焼きそば とうもろこし フランクフルト 利用者10名
- ・ 07月24日(祝金) ピザ フライドポテト 利用者11名
- ・ 09月21日(祝木) クリームシチュー 生食パン プリン 利用者13名
- ・ 09月22日(祝金) かつ丼 みそ汁 りんごゼリー 利用者11名
- ・ 11月03日(祝火) ラーメン鍋 さつまいものオープン焼き 利用者16名
- ・ 11月23日(祝月) 関西風味噌おでん おにぎり 利用者15名
- ・ 02月23日(祝火) グラタン スープ パン ぜんざい 利用者14名

※新型コロナウイルス感染予防対策として外出が出来にくい状態であった為、外出の楽しみを調理訓練に変えて安全対策を行った上で実施した。

創作活動

- ・06月19日（金） トールペイント講習会 利用者 5名
- ・12月29日（火） カレンダー作り 利用者22名
- ・02月11日（祝月） マスクケース作り 利用者14名

5. サービス提供日

月曜日から金曜日。休日は、土、日

- ① 8月13日（火）14日（水）15日（木）の（3日間）の夏休み
- ② 12月30日（月）～1月3日（金）の（5日間）の年末年始休み

年間開所日数： 255日間 （内祝日14日間）

※10月以降、サニー・ばなな合同開所日ではない土曜日はグループホーム入居者のみ対応で調理訓練を実施。移動支援を利用できにくかった為に実施。

延べ利用者数：4,412名 1日平均利用者数：17,1名

6. 利用者の健康管理と個別支援計画

- ・家族・グループホーム支援員と連携し、毎朝起床後の検温実施。作業開始前の体調チェックを行った。午後からの検温も年度途中より実施した。
- ・毎日の健康について連絡帳を活用し、病院受診時に通常の様子を医療につなぐ連携を緊密にするよう努めた。
- ・毎月1回、看護職員による体重・体脂肪等測定、バイタルチェックを実施した。また個別に年間の記録をまとめたものを配布した。その他、利用者からの健康相談（病院での診断や検査結果について）に看護職員が適宜対応した。
- ・毎月1回、協力医（太田医師）による健康相談を実施した。主に集団で過ごす上で注意すべきことについて「感染症対策」「感染症の疑いがある場合の対応方法」をその時の集団状況について助言を頂き、感染拡大を防ぐことに努めた。
- ・健康診断を（事業所からを希望された方のみ）7月に実施した。またインフルエンザ対策の予防接種を10月に実施した。診断は、かかりつけ医で実施できる方はかかりつけ医で対応をして頂き、集団健診は控えた。
- ・個別支援計画作成時に家族、グループホーム支援員と情報交換を行い、利用者の健康状態や身体状況を常に把握し、日々の支援を行った。

7. 通所支援

- ・自力通所の困難な利用者については可能な範囲で福祉車両での送迎を実施した。新型コロナウイルス感染予防のため、自力通所者についても臨時で送迎を行った。
- ・送迎は福祉車両を使用し、送迎職員と常勤職員で行った。

月平均利用者：10,28名

8. 生産活動

- ・平均利用者工賃：利用者22名分→8,442円（賞与込み）

令和元年度実績：8,808円

支払い総額2,186,431円 令和元年度実績：2,359,527円

4) 職員について

1.採用及び退職等

- ① 採用：男性常勤職員 1名（令和 2年10月 7日）
 男性常勤職員 1名（令和 3年 2月 1日）
 男性非常勤職員 1名（令和 3年 3月 9日）
- ② 退職：男性常勤職員 1名（令和 2年12月31日）
- ③ 専門資格状況：職員 7名中（介護福祉士：5名 社会福祉士：1名 准看護師：1名）

2. 職員研修の実施状況

- ・育成研修：利用者への理解を深め、適切な支援・対応が出来るよう職員の専門性の向上を図るため、積極的に外部研修に参加した。また、勤続年数4年目の職員については、キャリアパス対応研修課程テキスト「中堅職員編」を実施した。
- ・職務分担：課せられた職務を遂行する上で、個々の職員が過重負担にならないよう努めた。
- ・職務遂行：各職員が法人目標を達成できるよう職務を遂行し、決めた事を貫徹する職員集団にするように努めた。

職員研修の実施、参加状況

・06月12日（金）	「ケア記録システム/ケアコラボ」	法人全体研修	5名
・06月14日（日）	21日（日）28日（日）	「行動援護事業者養成研修」	1名
・07月10日（金）	「思わず買いたくなる陳列方法」	法人全体研修	7名
・08月05日（水）	「食品衛生責任者養成講習会」	外部研修	1名
・08月21日（金）	「発達障害（自閉症）」	法人全体研修	6名
・08月29日（土）	「2020ダウン症支援セミナー」	オンラインセミナー	1名
・08月24日（月）	「販路について」	オンライン研修	1名
・08月30日（日）	「2020ダウン症支援セミナー」	オンラインセミナー	1名
・09月11日（金）	「精神障害」	法人全体研修	6名
・10月16日（金）	「障害福祉サービス事業の適正運営」	三法人合同研修	2名
・01月29日（金）	「障害者虐待防止」	法人全体研修	7名
・03月13日（金）	「福祉職員研修/チームリーダー」	三法人合同研修	1名
・03月29日（月）	「福祉事業所で共に働くということ」	外部研修	1名

3. 職員の健康管理

- ・日々の業務を円滑にするため、健康管理を重視し、全職員が健康診断を受けた。
- ・職員の健康維持と事業所内での感染拡大を予防する為、インフルエンザの予防接種を10月に受けた。※費用は事業所負担

5) 地域交流 《開かれた事業所を目指して》

1. 各支援学校からの実習生受け入れ状況及び体験利用受け入れ状況
 - ・コロナウィルス感染予防の観点から、各支援学校からの見学等は自粛となった。
2. 学校実習生受け入れ
 - ・深井中央中学校からの職場体験、深井小学校3年生の事業所見学は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止となった。

- ・NPO法人あすなる ふくしの学校の学生の方の見学を受け入れ、フィードバックに繋げる事が出来るように努めた。
 - ・精神保健福祉士の学校のインターシップの受け入れ4日間を2人、受け入れた。
3. ボランティアの受け入れ
- ・定期的にクッキー作業のボランティアに来て頂いている。
4. 広報活動
- ①法人機関紙「ばななの木」を年4回発行し、事業所の現状を多くの方に発信し、理解・協力を求めるよう努めた。
 - ②担当者がホームページを月2回更新し、外出訓練や調理訓練の様子、クリスマスやバレンタインのイベントの案内と売上の報告、助成金事業の内容等の活動報告を行った。

6) 防災・避難訓練の実施

- ・年1回の避難訓練については、9月の大阪880万人訓練は酷暑の為、外での訓練は危険と判断し、防災の勉強会に変更した。自主訓練（避難訓練と防災についての話し合い等）を3月に実施した。
- ・防災委員会開催：各事業所の担当者が集まり、法人全体の防災・減災意識の向上を目的とした会議の開催。また、災害時に備えて備蓄品の策定・購入等の会議を開催。

7) 事故発生状況の事故防止対策及び対応

- ・事故または苦情が発生した場合は、適切に対応するとともに5日以内に報告書を作成し、その後、関係者が複数で防止策を検討し、1週間以内に全職員が共有して再発防止に最善を尽くすように努めた。

【事故：5件】

- ①クッキー材料確認ミスで販売できない商品が出来上がり職員で買い上げた。
- ②利用者の膝くずれで、よろめいた時、手を添えていたが防げなかった。
- ③他害：男性利用者が男性利用者を平手打ちした。
- ④送迎車に傷をつけてしまった。(利用者乗車していない)：2件

8) 苦情解決処理状況

【苦情発生状況：0件】

9) 成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業

【利用状況】

後見人：1名利用継続中（男性 41歳）

後見保佐人：1名利用継続中（男性 70歳）

【市民後見人陽性講座実習生受け入れ】

令和2年度は無し。

1 0) 他団体との交流、連携

- ・ナカ♡ナカマネットワークと中区つむぎの会への参加は、イベント中止になった事により、定期的な会議も中止となり交流が極端に減ってしまった。
- ・深井清水町自治会の行事には、順番にまわってくる自治会館の掃除には参加した。

1 1) 家族会、家族、支援員との連携について

- ・家族会の活動が新型コロナウイルスの感染予防対策として控えられたので、連携することが無かった。配布物のやり取りのみであった。
- ・年1回の事業所独自に家族と職員の懇談会を開催し、家族同士のつながりを深め、個人では解決しにくい問題や共通の課題等を率直に話しあえる機会は新型コロナウイルス感染予防対策として設ける事が出来なかった。
- ・電話、連絡ノートを活用して事業所や自宅での様子や普段と違ったこと等を、個別に情報交換し家族・支援員と連携しながら日々の支援を通常以上に行った。
- ・家族・支援員、関係機関と連携する中で利用者の全体像を把握し、個別支援に反映させるよう通常以上に努めた。